

SDGsの実践プロジェクト ～放置竹林問題を考える～

参加学生募集！

こんな人にオススメ！

- ✓環境問題に興味がある
- ✓企業との連携に興味がある
- ✓地域課題の解決に関心がある
- ✓現場に出て実践的に取り組みたい



この授業は、SDGsのうち環境問題に関する課題に実践的に取り組む授業です。

- ①全国で放置竹林が問題となっており、各地で取り組みが進められています。
- ②本PJでは、神戸市北区をフィールドに、竹林の伐採と地域での利活用の方策の検討、地域課題について学びます。
- ③竹の利活用方法については、企業や神戸市と連携して調査・企画し、実践します。また、使用済み竹製品は竹炭土壌改良剤にして土に還し、循環を意識した取り組みを行います。
例：竹ペレット製品(バイオプラスチック)の企画・販売とふるさと納税返礼品の登録、竹パウダーの活用方法の検討、竹炭土壌改良剤の地域への配布
- ④最後に、年間の活動記録を報告書にまとめ、発表します。



▼申込期間：4月8日(月)～5月2日(木)

4月16日(火)、18日(木)、23日(火)、25日(木)

▼事前説明会：時間：お昼休み 12:20～12:50

場所：地域連携センター(KOREC：12号館1階)

▼募集人数：10名程度（応募多数の場合は申込の記述をみて選考します）※原則、全てのプログラムに参加できることが条件です

▼定例ミーティング：5月9日(木)～学期中 木曜日5限目(予定)

QRコードを読み取り、または

▼応募方法：リンク先から(<https://forms.office.com/r/74Q69K5HGZ>)
申込フォームに必要事項を記入して送信してください。



主なプログラム（昨年の実績）

授業（ミーティング）の頻度は月に2~4回で、現地活動とあわせて年間15回の開催を目安とします。それにプラスして、企画の実践に取り組みます。本授業とは別に、放置竹林問題に取り組む学生の自主的な活動（「ちょっと竹プロジェクト」）もあります。
時間をかけて取り組みたい人向けのプログラムです。

活動スケジュール 令和5年度（2023年度） 竹ペレット製品の販売に向けて



王子動物園の竹ツリーイベントに向けて



放置された竹林は棚田を侵食してしまうんだって



竹炭は土壌改良剤にも使えるよ



ちょっと竹プロジェクト 学内竹灯籠

竹灯籠をiCommonsと2号館をつなぐ渡り廊下に計134個設置

阪神淡路大震災の日には、追悼の意を込めて慰霊碑の前に展示場所を移動させて展示を行った

